

## **系統集荷 早期の価格提示続く**

### **認定農業者へ三重単協買取り コシ 2 万 6,000 円提示 概算金 2 万 3,000 円予想も**

地元集荷筋によれば、東海及早場地域である三重県内の A 農協は、管内の一部認定農業者向けに 7 年産米の買取価格（JA 米 1 等 60 ㌦、税込み）を数量限定で提示しているという。

8 月 20 日集荷分までの早期あきたこまちは 2 万 8000 円、9 月中旬集荷分までのコシヒカリは 2 万 6000 円に設定した。例年であれば 8 月盆前後に設定される全農概算金を基準に各地域の農協が単価を設定するが、A 農協は異例の早さで買取価格を提示。地元卸によれば、「6 年産で管内の認定農業者のコメの多くが県外の商人系などに流れたことも大きい。ただし、あくまでも数が限られた認定農業者向け。それ以外はコシ概算金で 2 万 3000 円程度になるのではないかとみられている。

また B 集荷業者は、「昨年買い負けた地元業者はスタートで高値を提示するだろうが、備蓄米の販売価格に慣れた一般消費者が求める金額は 5 ㌦ 3500 円まで。猛暑の影響を含む生育状況、政府対応にもよるだろうが、2980 円での特売を考えると庭先価格は 2 万 3000~5000 円程度に抑えることになるのではないかと予想している。

### **埼玉単協 コシ 2 万 3 千円に 全農目安、前年比 6 千 660 円高**

埼玉県の関係筋によると、県内の A 農協がこのほど、組合員生産者に 7 年産 JA 米の概算金を通知した。例年通り 8 月に決定される全農の概算金については、今後の情勢によって変動することが予想されると説明しながら、その「目安価格」を示している。

同 JA 概算金（1 等玄米、60 ㌦税込み）は、主要銘柄のコシヒカリ・彩のきずなが 2 万 3000 円、彩のかがやきが 2 万 2500 円。共同計算による支払いは概算金 + 精算金の合計となる。販売情勢によっては、概算金の追加支払いも迅速に行っていくとしている。

なお、全農による概算金の目安価格は、JA 米コシヒカリが 2 万 3000 円、彩のきずな・彩のかがやきが 2 万 2000 円、あきたこまちのほかミルキークイーン・日本晴が 2 万 1500 円、その他一般米が 2 万 0500 円。前年価格比でコシが 6600 円高、彩のきずなは同 6100 円高、こまちは同 5900 円となる。



### **夢つくしなど一律 2 万 2 千円 JA 福岡京築の最低保証額**

福岡の JA 福岡京築はこのほど、令和 7 年産夢つくし・元気つくし・ヒノヒカリについて、JA 米の生産者概算金最低保証額を一律 2 万 2000 円（1 等、60 ㍓）と決定した。前年比で夢つくしは 5480 円高、元気つくしとヒノヒカリはともに 6220 円高の設定となる。正式には 8 月下旬に最低補償額に追加加算額を含めた金額を決定し、最終概算金として通知する。

なお JA 福岡京築によると、6 年産の生産者概算金（1 等 60 ㍓）の内訳は、夢つくしが当初概算金 1 万 6320 円、追加概算金 4080 円、中間概算金 1200 円で、最終概算金は 2 万 1600 円だった。同じく元気つくしとヒノヒカリは、いずれも当初 1 万 5780 円、追加 3540 円、中間 2280 円で、最終 2 万 1600 円だった。

### **早期コシ等 8 千 600 円高 2 万 7 千円 JA 鹿児島きもつき概算金**

鹿児島の JA 鹿児島きもつきが 7 日、7 年産早期米コシヒカリ・イクヒカリ・なつほのかの生産者概算金（1 等、60 ㍓、税込み、期間設定なし）を一律で 2 万 7000 円に決定した。前年比 8600 円高の設定となる。等級間隔差は 2 等が 1 等の 400 円安、3 等は 2 等の 600 円安。鹿児島では、20 日前後から刈り取りが始まる見込みだ。

産地筋によると、同じ早期米産地の宮崎では 16 日の理事会で概算金が決まる模様。コシ 1 等 2 万 6000 円が有力との情報が伝わっている。